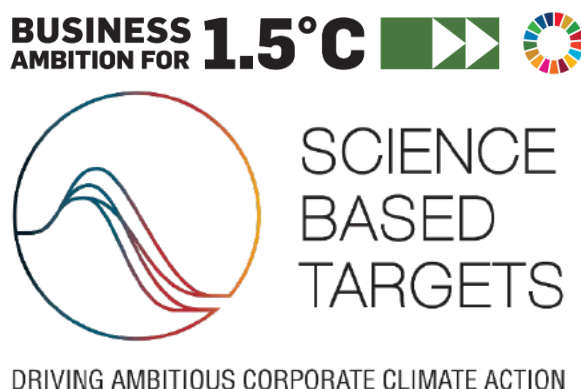


## News Release

株式会社中原工業の温室効果ガス(GHG)排出量削減目標が、  
国際イニシアティブ「SBT(Science Based Targets)」認定を取得

当社が策定した温室効果ガス排出量削減目標が、「パリ協定」で定める気候変動に対する目標達成において、科学的に根拠のある水準であると認められ、国際的なイニシアティブであるSBT(Science Based Targets)イニシアティブ(※1)の認定を取得しました。



### ◆認定された温室効果ガス削減目標

Scope1(※2)およびScope2(※3)	2021年度を基準に2030年までに42%削減
Scope3(※4)	排出量を把握し、削減することを約束

当社は創業以来、社会に貢献できる会社として、日々の生産活動に努力を重ね、豊かな生活の向上に取り組むことで、ステークホルダーの皆様から永続的に必要とされることを目指してまいりました。特に社会・環境面においては、ISO14001の認証や埼玉県SDGsパートナーの認定取得など、SDGsの各目標に取り組むことで、サステナビリティ経営を推進しております。現在、日本は2050年のカーボンニュートラルの実現を目指しており、こうした脱炭素に向けた取り組みの必要性から、当社においても省エネルギー化の推進やCO2排出量の削減に取り組んでおります。

この度、SBTイニシアティブより認定を取得しましたが、今後も取り組みを一層強化し、社員一丸となり地域社会やお客様に信頼される企業となるよう不断の努力を続けていく所存でございます。

※1 産業革命前から地球の気温上昇を2℃未満に抑えるため企業に科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標の設定し、排出量削減を推進することを目的にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)の4団体が2015年に共同で設立。

※2 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼等)

※3 他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出

※4 その他の間接排出(製品の製造・販売・消費・廃棄など15種のバリューチェーンにおける温室効果ガスの排出)